

講義名	医療経済論			授業形態	
担当教員	中島 孝子	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

「疾病と貧困の悪循環」という言葉があります。疾病が貧困をもたらし、貧困が健康を妨げるという意味です。こうした「悪循環」を防ぐために日本では公的医療保険制度がとられています。本科目では公的医療保険制度の仕組みに注目して、医療経済学におけるトピックを学習します。

すなわち、医療保険制度としての保険に関する問題について学習します。はじめに医療サービスの特徴について学び、次いで、日本の医療制度と国民医療費の推移を概観します。医療サービスの需要と保険について理解したあと、保険の特徴をいくつかの側面から考えます。そのほか、医療制度の国際比較、および医療提供体制について学びます。

到達目標

- ・医療経済論での学びを通じて、以下のトピックについて、現実に採用されている制度、理論的問題および実証研究の結果などについて理解できるようになる。
- 日本の医療制度と国民医療費
- 医療サービスの経済学的特徴
- 保険の仕組みと公的医療保険
- 医療制度の国際比較
- 医療提供体制
- ・目標 - に関する学びを通じ、医療制度やその経済的意義を理解し、医療制度が持つ社会的な課題を発見することができるようになる。
- ・目標 - に関する学びを通じ、日本および世界の医療制度の長所短所などの特徴を理解し、日本の制度について課題を発見し解決する手がかりを得ることができるようになる。

提出課題

提出課題として小テスト等を課します。詳細は授業中に指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出後、原則として翌週以降に解説や講評を行います。

評価の基準

成績は100点満点で評価し60点以上が合格です。
配分は定期試験60%、平常点40%です。
昨年は履修登録者の81%が期末課題（定期試験にかかわる課題）を提出し、その96%が合格しました。

履修にあたっての注意・助言他

経済学の入門レベルの科目を修得していることが望まれます。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.医療の経済学（第4版）、	河口洋行	日本評論社	2500	4535559961
.医療経済学講義 補訂版。	橋本・泉田編	東京大学出版会	3520	4130421423
.医療経済学15講。	細谷・増原・林	新世社	2640	4883842843

その他

必要に応じて資料を配布します。
上の参考図書に加えて、本科目の履修において有用な文献をあげます。
添博雄「医療経済学」東京大学出版会 1998年
池上直司「日本の医療と介護」日本経済新聞出版社 2017年
井伊直子、五十嵐中・中村茂太「新医療経済学 医療の費用と効果を考える」日本評論社 2019年
後藤剛・井深陽子「健康経済学 市場と規制のあいだで」有斐閣 2020年

授業計画

- 1 医療サービスとは(1) 医療サービスの特徴1(サービスとしての医療)
- 2 医療サービスとは(2) 医療サービスの特徴2(不確実性、情報と主体)
- 3 医療サービスとは(3) 医療サービスの特徴3(公共性、排他性と排他性、外部性)
- 4 医療サービスとは(4) 医療市場の特徴、グロスマンモデル
- 5 国民医療費・介護費用の動向(1) 医療保険制度、国民医療費、高齢化、対国民所得比
- 6 国民医療費・介護費用の動向(2) 伸び率、医療費はどこまで増やせるか、医療費と介護費
- 7 医療サービスの需要(1) 需要の不確実性と保険1 保険原理
- 8 医療サービスの需要(2) 需要の不確実性と保険2 保険加入のインセンティブ
- 9 医療サービスの需要(3) 情報の非対称性、逆選択問題
- 10 医療サービスの需要(4) 国民医療費、モラル・ハザード問題
- 11 医療制度の国際比較(1) 医療保険制度の類型1 社会保険方式
- 12 医療制度の国際比較(2) 医療保険制度の類型2 NIS方式と私的保険方式
- 13 医療提供体制(1) 医療の増長分化
- 14 医療提供体制(2) 病院の分類、病床区分
- 15 全体のまとめと復習

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業後、以下のことをおこなってください。
・資料などを用いて復習をする。
① 資料などを用いて復習をする。
② 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディア（新聞、ビジネス雑誌、テレビ番組、インターネット等）を通じて情報収集する。
1回の授業で4時間が目安です。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目における学びを通じ、人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎を身に付け、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題を提案することができるようになる。具体的には次の2点である。
・医療制度やその経済的意義を理解し、医療制度が持つ社会的な課題を発見する。
・日本および世界の医療制度の長所短所などの特徴を理解し、日本の制度について課題を発見し解決する手がかりを得る。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中のアンケートや、小テストの提出などにクリックカーを使用します。

実務経験の有無及び活用

備考